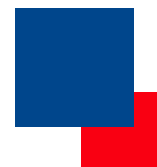
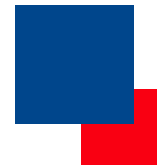
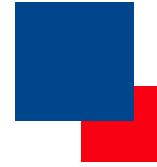
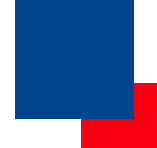




2026年3月期 決算説明会資料

2026年5月11日 株式会社北里コーポレーション

	会社概要	P. 3
	2026年3月期決算 業績報告	P. 8
	2027年3月期 業績予測	P. 24
	今後の取り組みについて	P. 29

会社概要

KITAZATO[®]



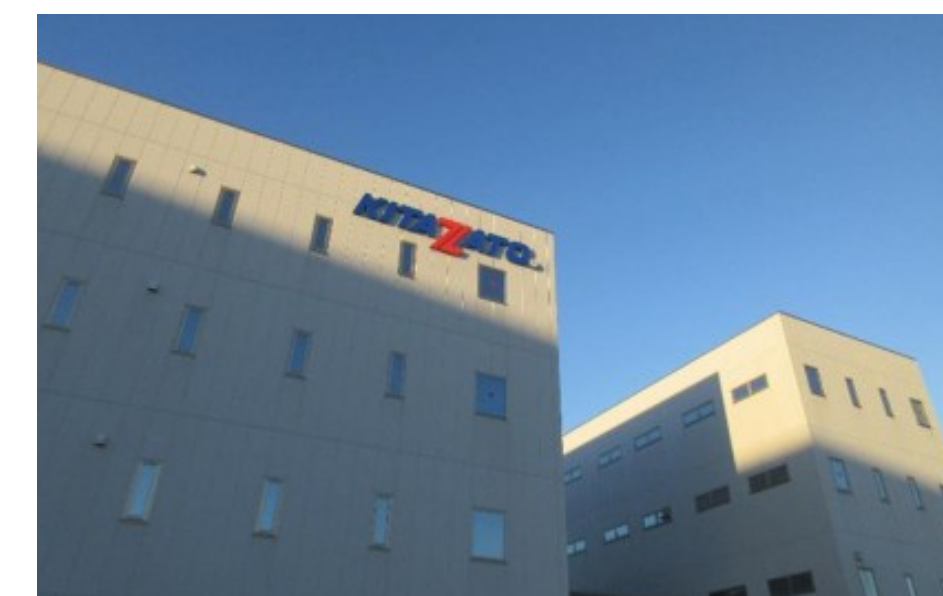
■ 体外受精・顕微授精・凍結融解移植などの不妊治療領域に特化した医療機器メーカー

Kitazato Corporation
株式会社北里コーポレーション

設立年月日	2007年4月3日
代表者	代表取締役 井上太綬
資本金	10,000千円（2026年3月末日現在）
本社所在地	静岡県富士市柳島100番地10
拠点	東京オフィス（港区芝大門）、米国、欧州
従業員数	198名（2026年3月末日現在）※正社員75名、臨時社員123名（契約社員、派遣社員、パート）
事業内容	不妊治療等に関する製品（採卵針・カテーテル・試薬などの消耗品）の開発、製造、販売
認証	ISO 9001, ISO 13485, ISO 14001, ISO27001, FDA, CE, CFDA, PMDA, etc.

Subsidiaries
子会社

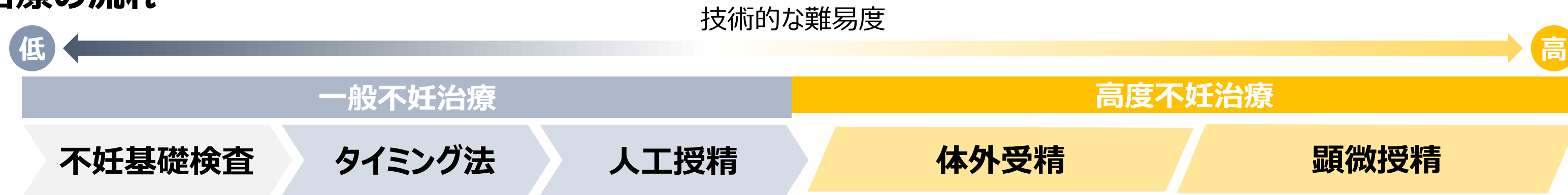
株式会社北里バイオサイエンス	2008年12月22日 設立	不妊治療設備関連の製造
株式会社北里検査センター	2016年 2月24日 設立	不妊治療関連の検査受託
株式会社北里ヘルスケア	2011年 6月 8日 設立	高齢者向け医療機器の開発・販売
株式会社北里クライオバンク	2022年 3月18日 設立	生体細胞の受託管理サービス提供
Kitazato America, Inc.	2023年 6月 9日 設立	米国における製品販売
Kitazato Europe	2026年 設立予定	欧州における製品販売



事業領域 ～不妊治療の消耗品・試薬を全てサポート～

- 人工授精、体外受精、胚移植のすべての治療工程に関わる製品を開発・製造し、世界各国の医療現場に提供
- 特に、当社が強みとする凍結保存分野では、凍結液および保存容器が主要製品として市場成長を牽引





不妊治療の流れ



当社が注力する領域



■ 国内一貫生産体制のもと、徹底した品質管理により、「Made in Japan」の高い安全性と信頼性を実現

Media (試薬)	医療機器
<p>卵子や受精卵の培養・凍結保存時に用いる試薬</p> <p>卵子/胚ガラス化・凍結液 融解液</p> <p>HTFメEDIUM</p> 	<p>卵子や精子などの採取・受精・移植時に用いるカテーテル</p> <p>採卵針 (OPUニードル)</p> <p>人工授精用 (IUI) カテーテル</p> <p>胚移植用 (ET) カテーテル</p> 
Cryodevice (凍結保存製品)	Micro Tools (顕微授精製品)
<p>卵子、受精卵や卵巣組織等の凍結保存に用いる容器</p> <p>Cryotop</p> <p>Ova Cryo Sheet</p> 	<p>受精 (顕微授精) 時に用いるピペット等</p> <p>ICSI Injection Pipette</p> <p>ICSI Holding Pipette</p> 

グローバルに展開する強固な販売体制

■ 約80社の代理店ネットワークを通じ、世界110カ国以上で自社製品を展開し、安定した成長を支える販売基盤を構築



※2025年3月末時点

2026年3月期 業績報告



KITAZATO[®]

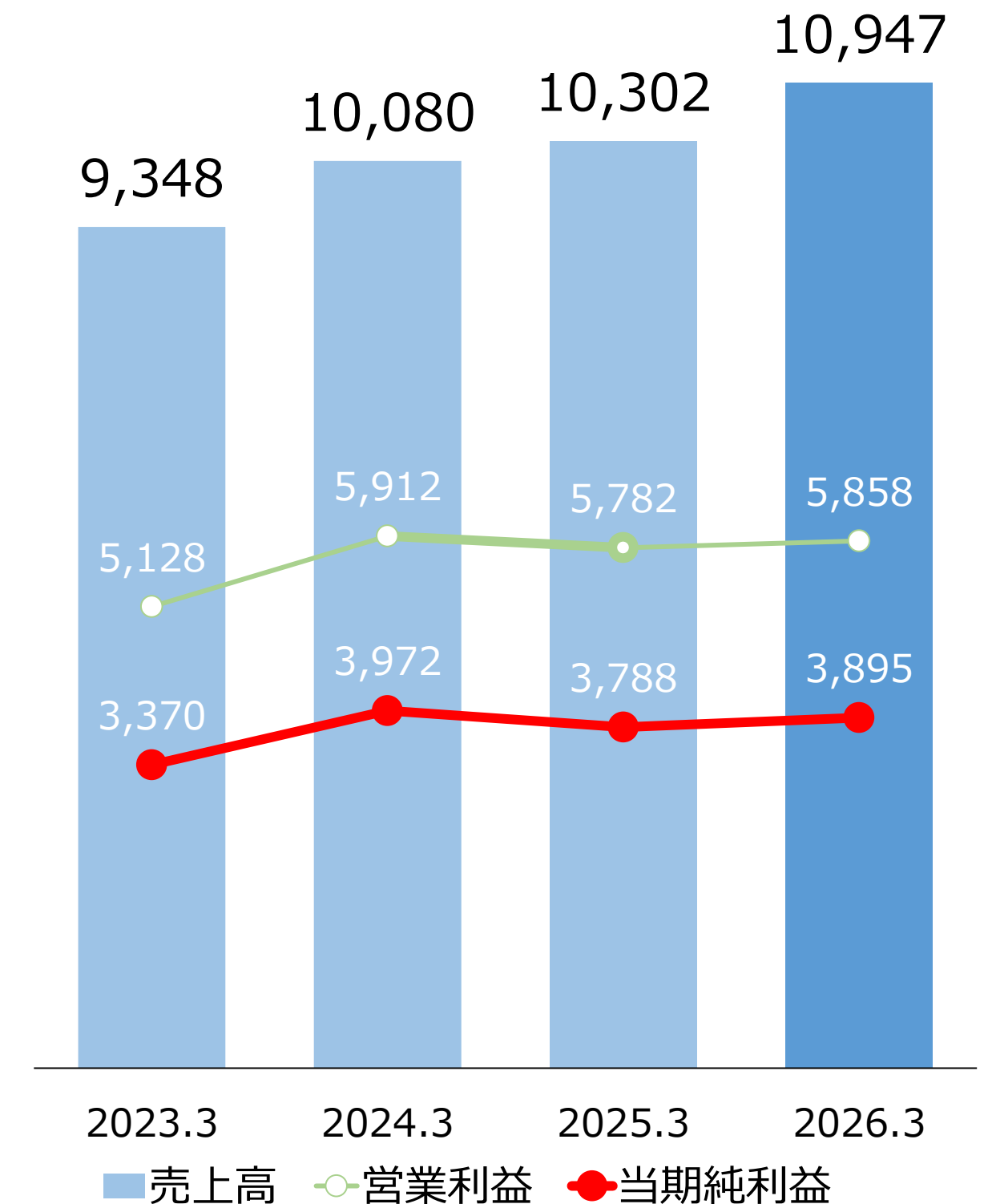
連結業績サマリー

増収増益、売上高は過去最高

■ 売上高は10,947百万円（前期比+6.3%、過去最高）、当期純利益は3,895百万円（前期比+2.8%）と増収増益

	2025.3	2026.3				
	実績 (A)	実績 (B)	増減額 (C=B-A)	増減率 (C/A)	計画 (D)	進捗率 (B/D)
売上高（連結）	10,302	10,947	645	6.3%	10,602	103.3%
売上高（単体）	10,127	10,708	580	5.7%	10,412	102.8%
売上原価	3,327 (32.3%)	3,732 (34.1%)	405	12.2%	3,785 (35.7%)	98.6%
販管費	1,191 (11.6%)	1,355 (12.4%)	164	13.8%	1,442 (13.6%)	94.0%
営業利益	5,782 (56.1%)	5,858 (53.5%)	76	1.3%	5,374 (50.7%)	109.0%
当期純利益	3,788	3,895	106	2.8%	3,498	111.3%

(百万円)



地域別売上高

国内は回復、海外は欧州を中心に堅調に推移

- 日本の売上高は3,660百万円（前期比+4.7%）、海外の売上高は7,287百万円(前期比+7.1%)
- 海外売上比率は66.6%（前期比+0.5pt）

(百万円)

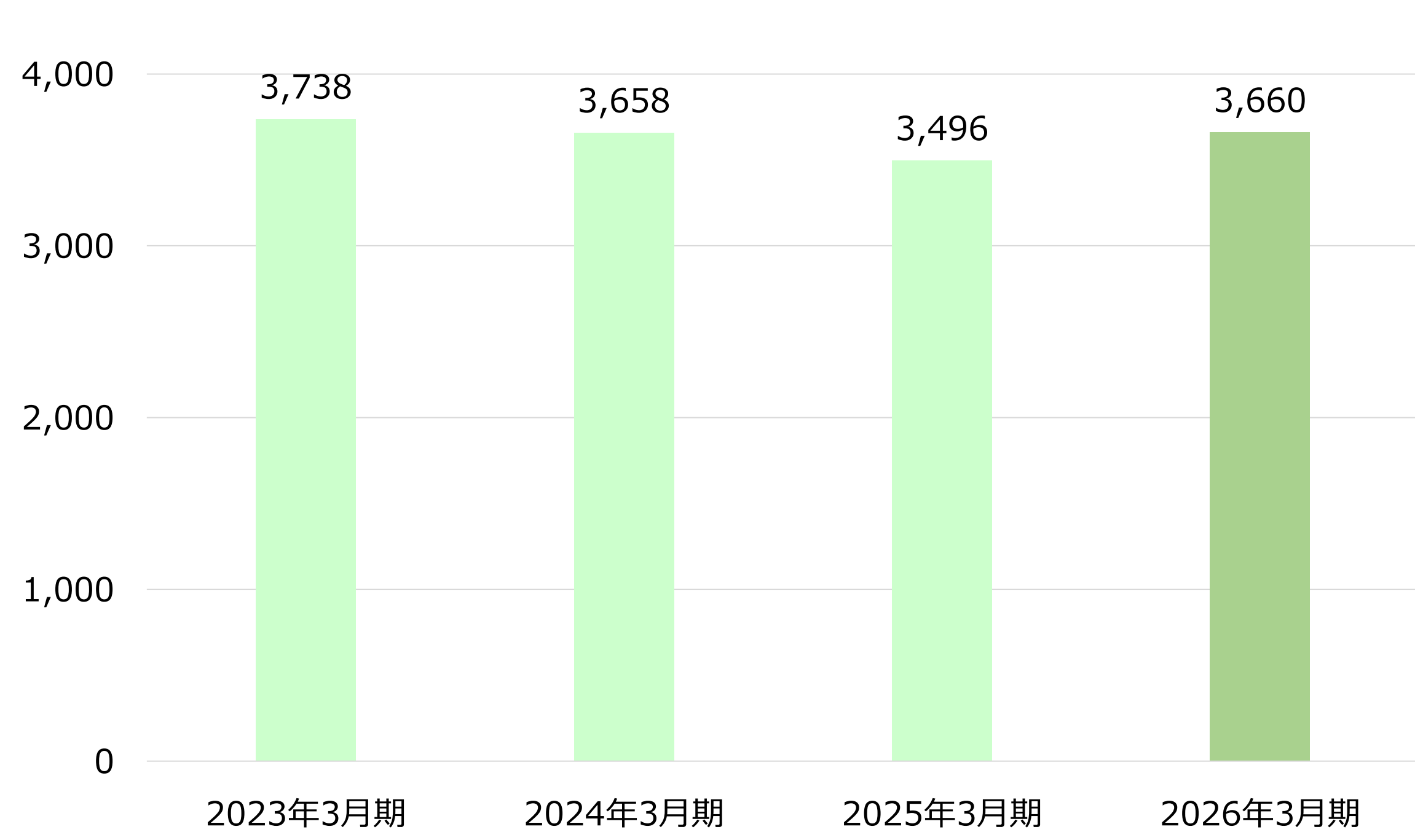
	2025.3	2026.3			
	実績	実績	前期比	計画	進捗率
売上高	10,302	10,947	6.3%	10,602	103.3%
日本	3,496	3,660	4.7%	3,690	99.2%
海外	6,805	7,287	7.1%	6,912	105.4%
欧州	3,448	3,990	15.7%	3,645	109.5%
米国	1,022	1,120	9.6%	1,179	95.0%
中国	868	672	△22.5%	659	102.0%
インド	467	593	26.9%	525	113.0%
その他	998	909	△8.9%	903	100.7%

地域別売上高（日本）

(百万円)

	2025.3		2026.3					
	4Q実績	通期実績	4Q実績	前年同期	通期実績	前年同期	計画	進捗率
日本	826	3,496	903	9.4%	3,660	4.7%	3,690	99.2%

(百万円)



<市場環境>

- 2022年4月から不妊治療の保険適用開始
- 新規クリニック数は増加の傾向
- CAGR11.9%(2026-2034) 引用「Straits Research」

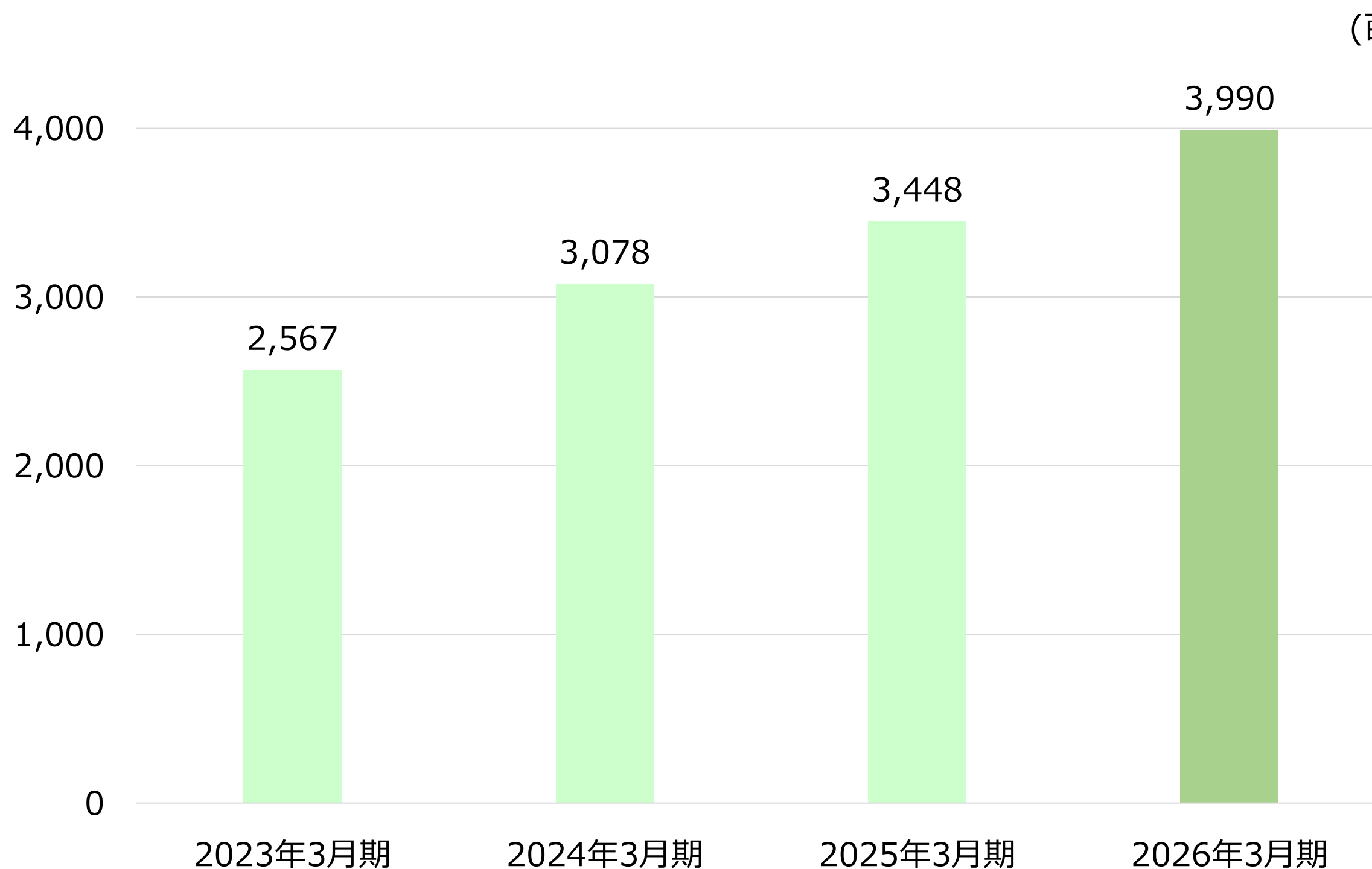
<増減要因>

- マーケティング活動および営業活動強化
- 新製品・改良品の投入

地域別売上高（欧州）

(百万円)

	2025.3		2026.3					
	4Q実績	通期実績	4Q実績	前年同期	通期実績	前年同期	計画	進捗率
欧州	1,144	3,448	1,240	8.4%	3,990	15.7%	3,645	109.5%



<市場環境>

- 欧州各国において公的保険・助成制度等が充実
- CAGR6.8%(2026-2034) 引用「Straits Research」

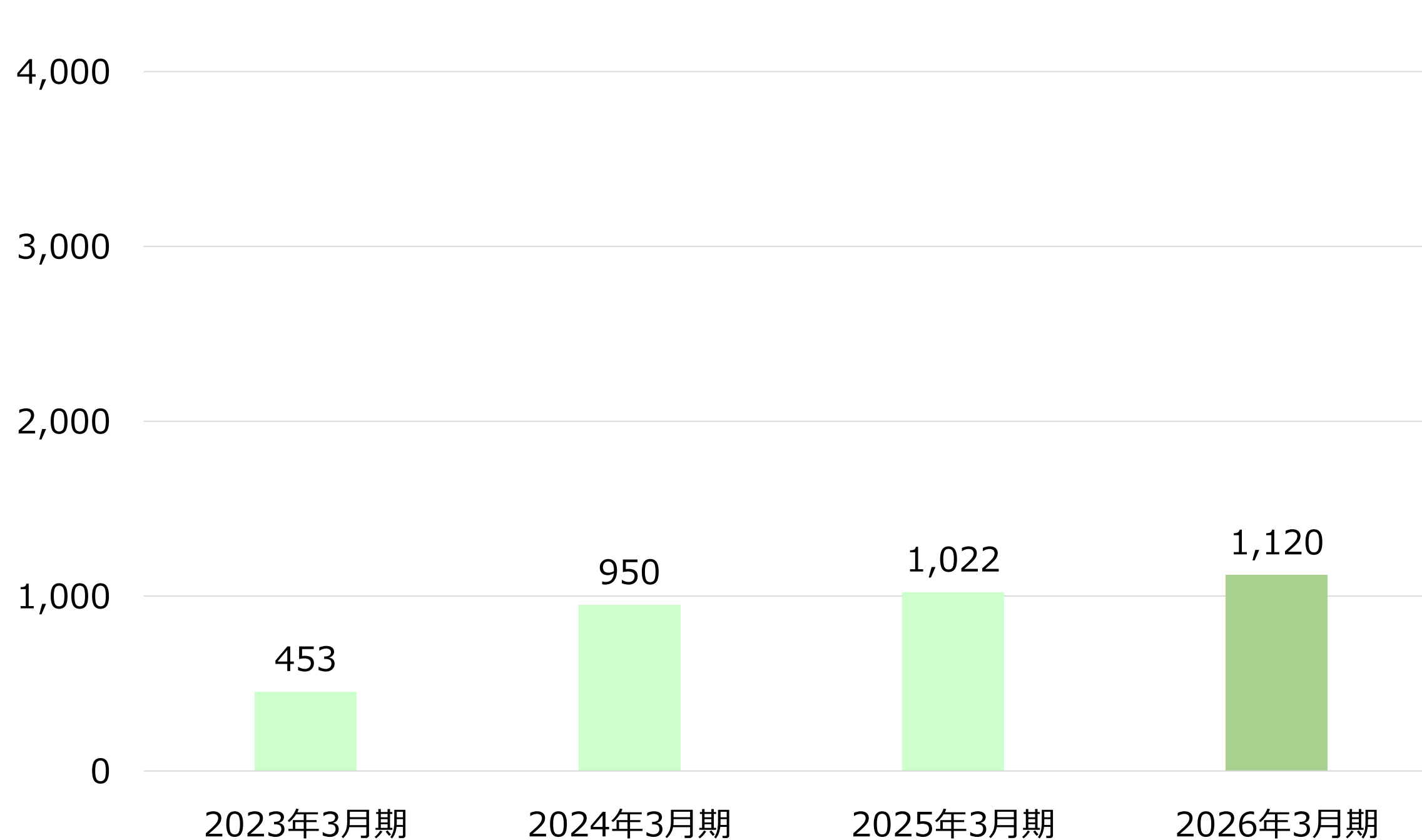
<増減要因>

- 新製品の投入

(百万円)

	2025.3		2026.3					
	4Q実績	通期実績	4Q実績	前年同期	通期実績	前年同期	計画	進捗率
米国	298	1,022	274	△8.0%	1,120	9.6%	1,179	95.0%

(百万円)



<市場環境>

- CAGR7.0%(2026-2034) 引用「Straits Research」

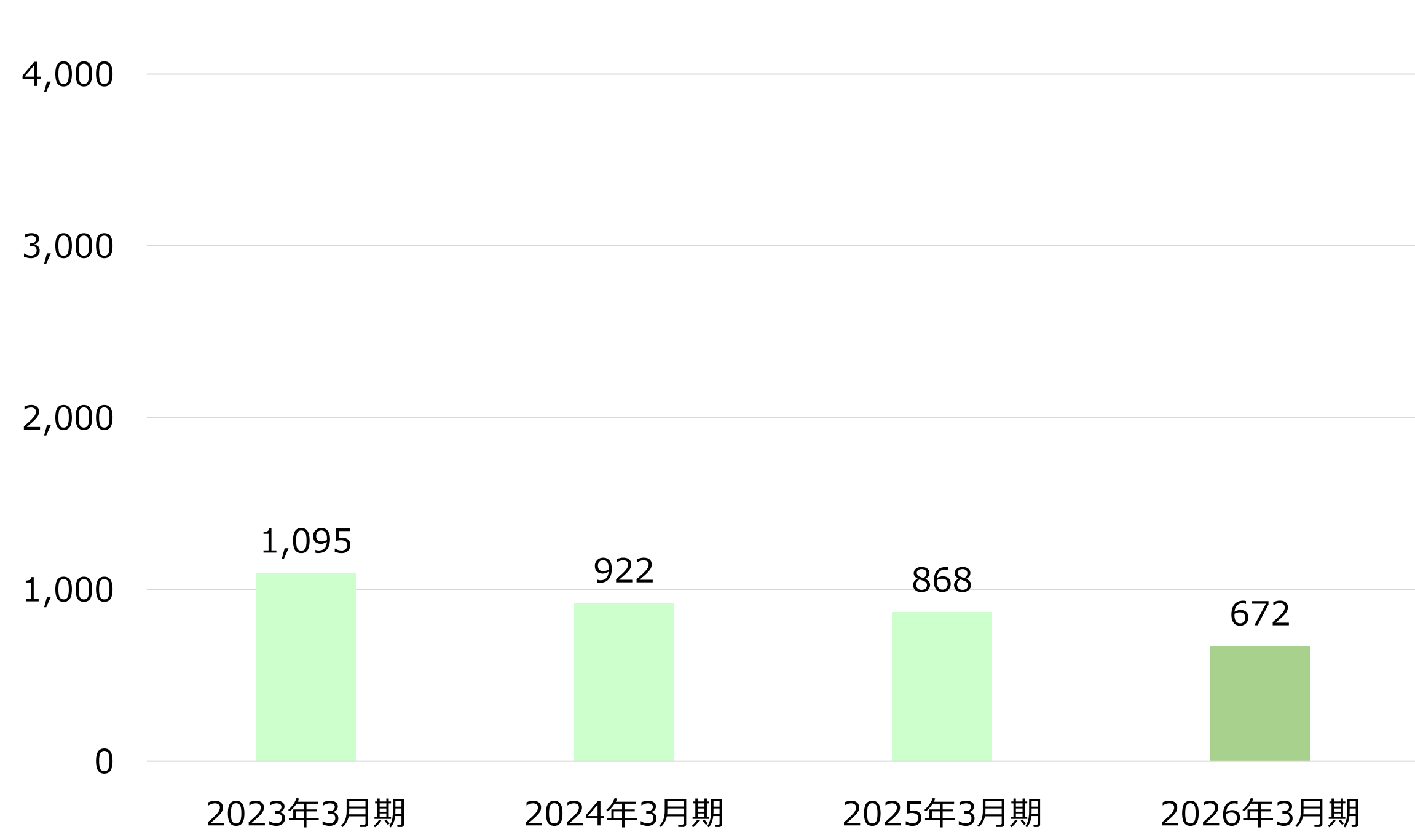
<増減要因>

- マーケティング活動および営業活動強化
- 競合メーカーの再編による市場の混乱

(百万円)

	2025.3		2026.3					
	4Q実績	通期実績	4Q実績	前年同期	通期実績	前年同期	計画	進捗率
中国	369	868	213	△42.3%	672	△22.5%	659	102.0%

(百万円)



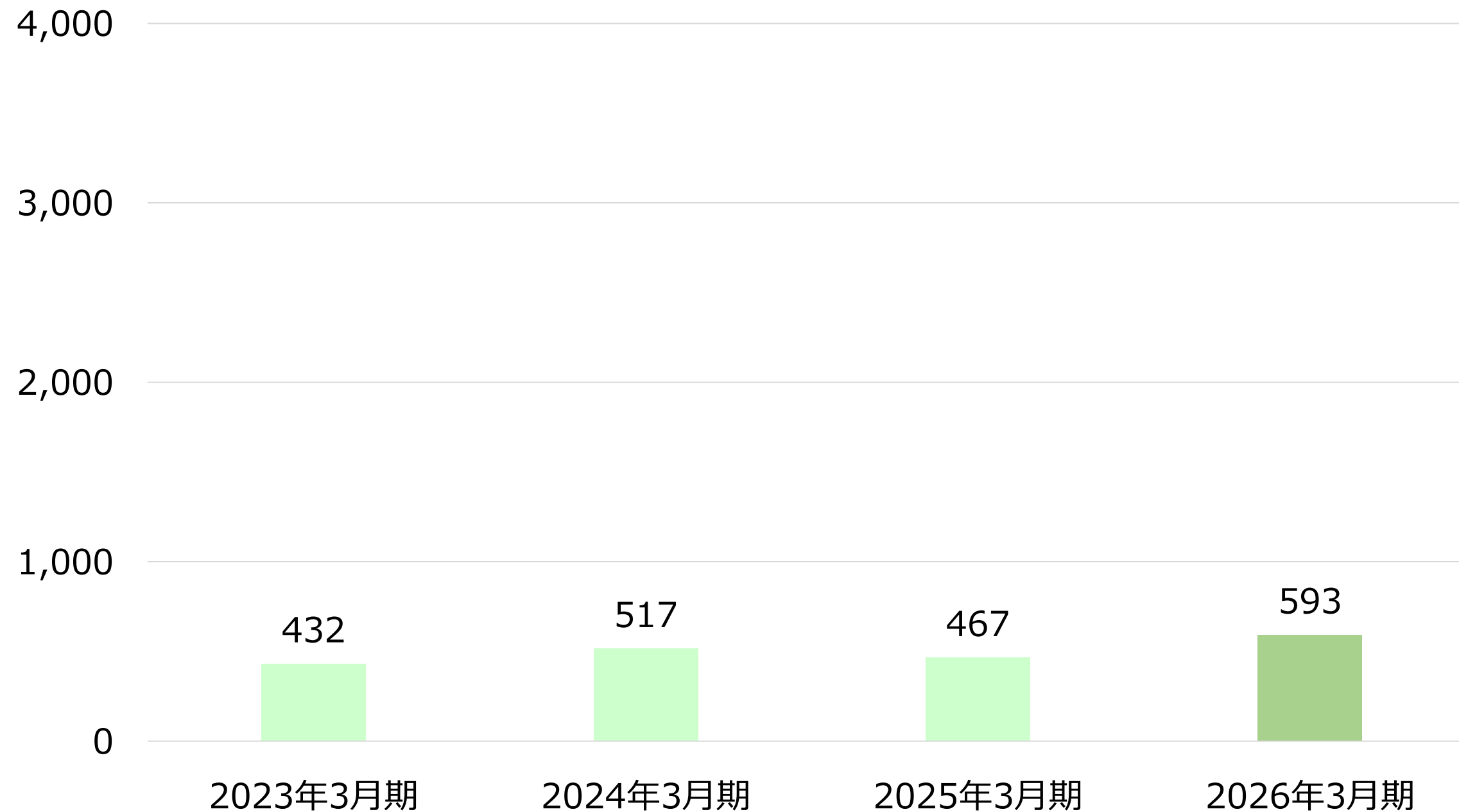
<市場環境>

- 出生率の大幅な低下傾向
(2024年 人口1,000人当たり 出生率6.7%)
引用「中国国家统计局」
 - 公立病院にて国産品優遇政策
 - CAGR12.5%(2026-2034) 引用「Straits Research」
- ### <増減要因>
- 患者数減少
 - 安価な自国製品の参入

(百万円)

	2025.3		2026.3					
	4Q実績	通期実績	4Q実績	前年同期	通期実績	前年同期	計画	進捗率
インド	138	467	123	△11.3%	593	26.9%	525	113.0%

(百万円)



<市場環境>

- 不妊治療施設数も増加
- 適齢（15～40歳女性）人口数は世界一
- CAGR14.5%(2026-2034) 引用「Straits Research」

<増減要因>

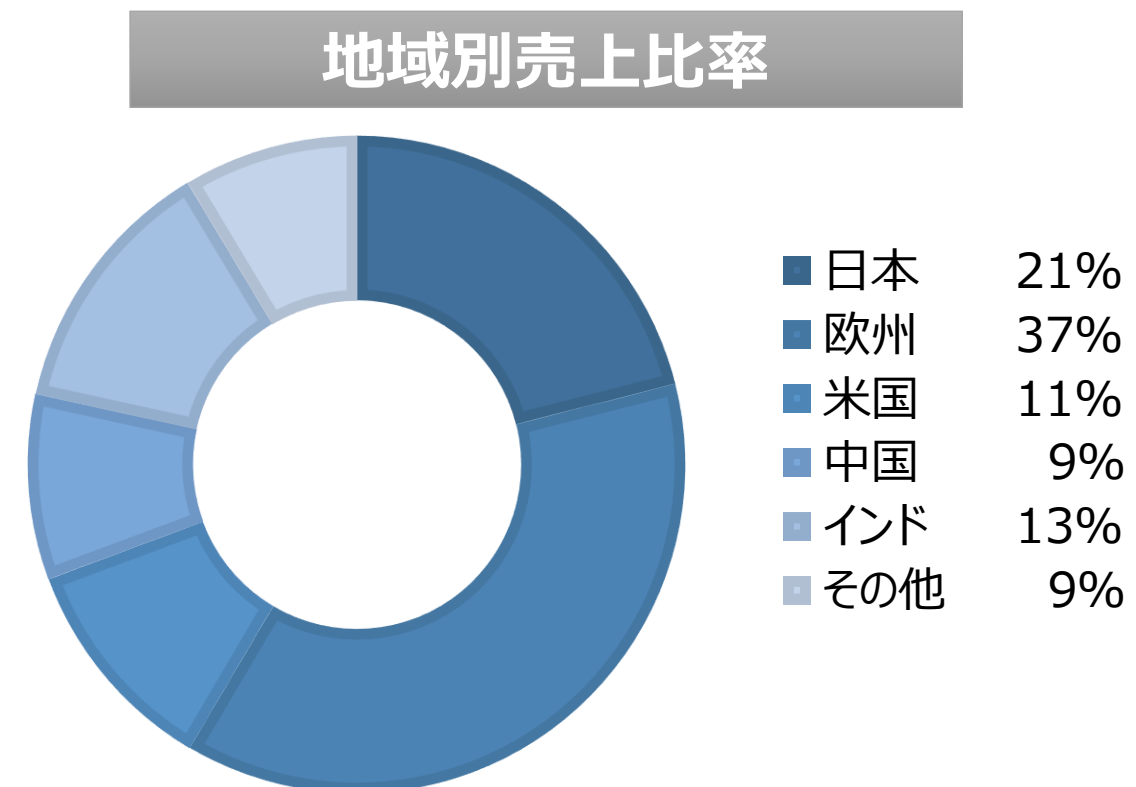
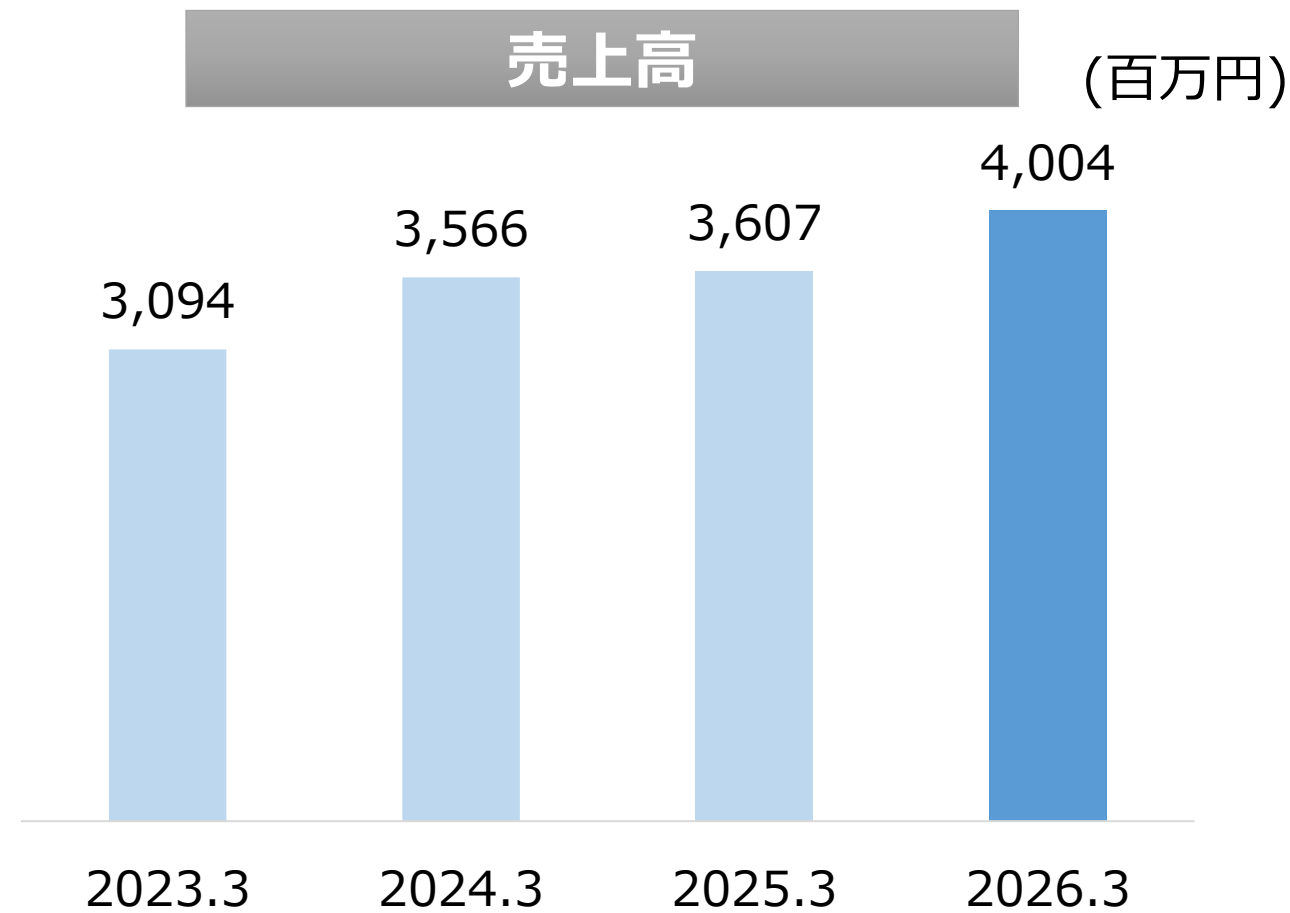
- 4Qは代理店変更準備に伴う計画的な減少

Cryodeviceで前年の一過性影響も、影響を除いたところでは、各製品カテゴリで着実に成長

- Mediaは、新製品の投入により好調。売上高は4,004百万円(前期比+11.0%)
- Cryodeviceは、中国での販売数低下の影響により、売上高は3,081百万円(前期比△2.6%)
- 医療機器は、国内外ともに堅調。売上高は2,512百万円(前期比+8.1%)
- Micro Toolsは、欧州で増加。売上高は1,099百万円 (前期比+8.8%)

(百万円)

	2025.3	2026.3			
	実績	実績	前期比	計画	進捗率
売上高	10,302	10,947	6.3%	10,602	103.3%
Media	3,607	4,004	11.0%	3,731	107.3%
Cryodevice	3,165	3,081	△2.6%	3,131	98.4%
医療機器	2,324	2,512	8.1%	2,377	105.7%
Micro Tools	1,009	1,099	8.8%	1,147	95.8%
その他	194	249	28.1%	216	115.6%



業績概要

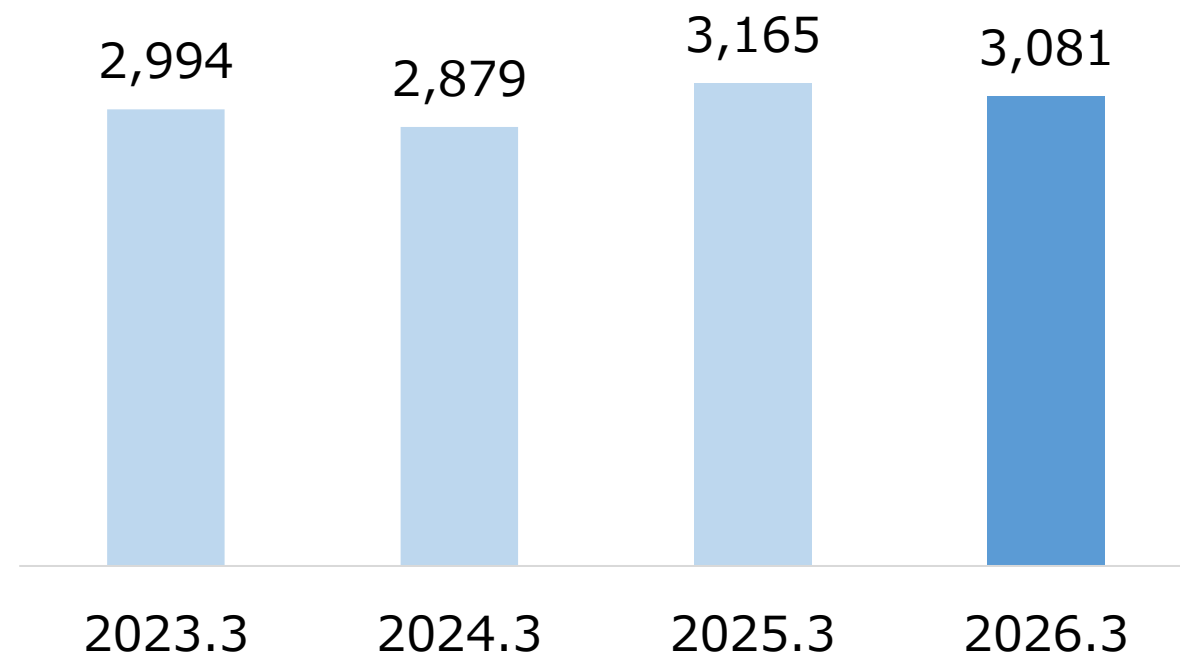
- ・欧州を中心とした新製品の投入により、前期比11.0%増
- ・新しい凍結技術の展開により新規顧客の獲得強化
- ・学会・ウェビナー活動を通じて安定した既存顧客を維持

今後の重点施策

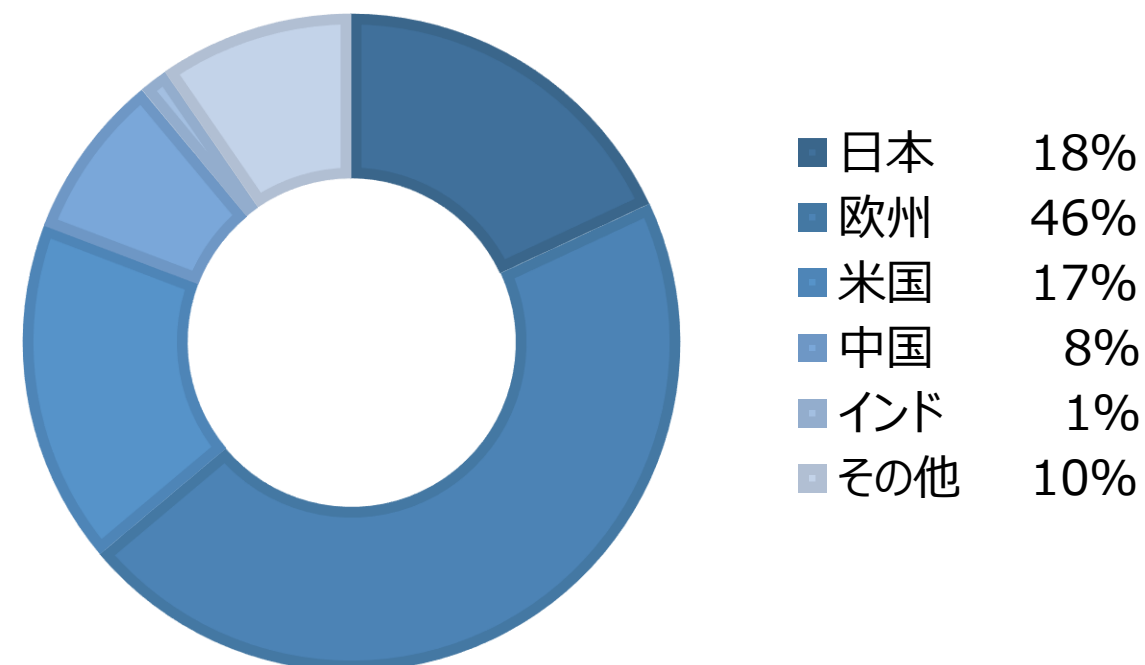
- ・当社の弱点だった受精卵培養液の市場投入
- ・特許取得製品の製品化と拡販
- ・アジア地区でのマーケティング活動および販売の強化
- ・各国での許認可の取得

売上高

(百万円)



地域別売上比率



業績概要

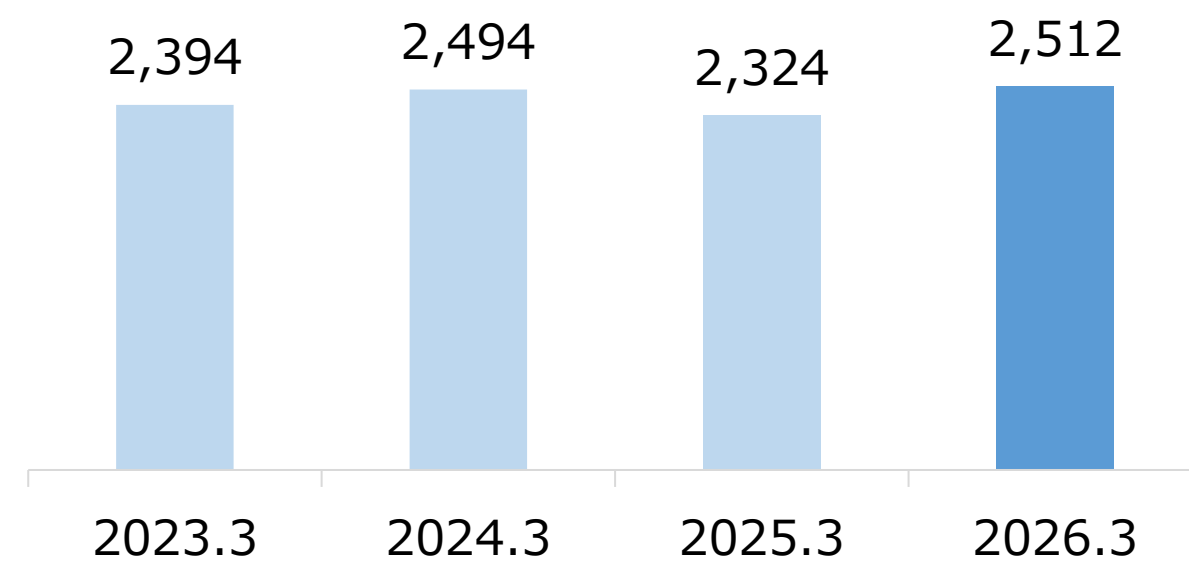
- 販売は堅調に推移。
- FY2025において中国向けスポット販売の反動影響が大きく前期比2.7%減

今後の重点施策

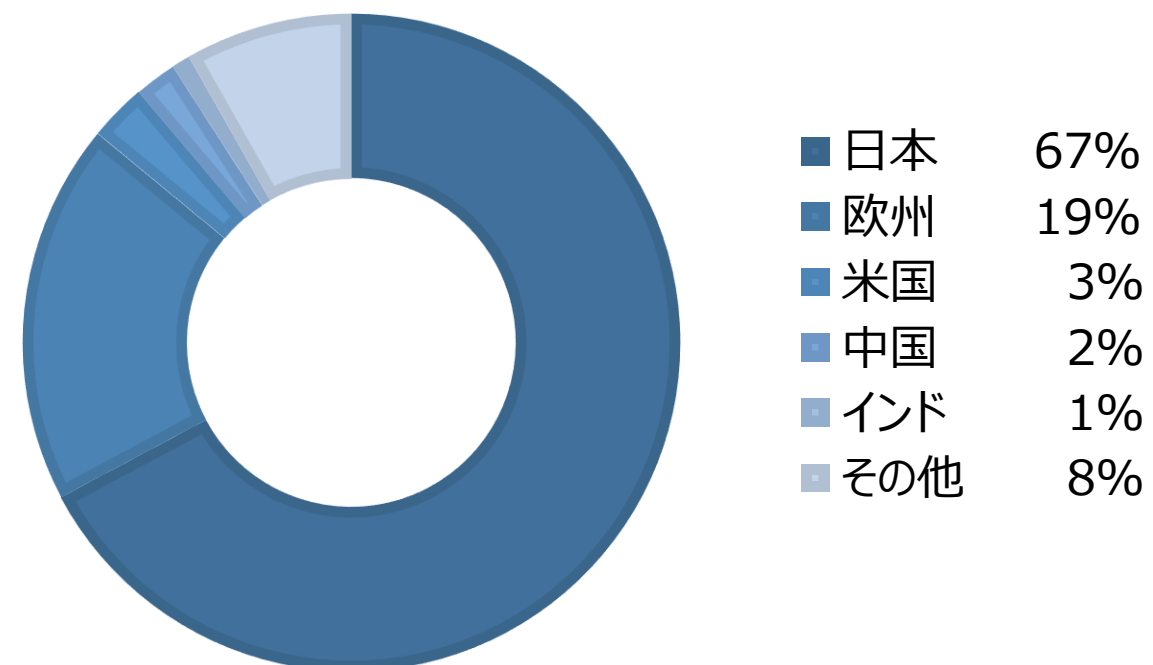
- 卵子バンク市場の拡大により海外市場を中心に販売強化
- 米国およびインド市場での拡販強化
- 追跡システムを加えた新サービスの提案
- 中国、インドでの現地廉価模造品に対して新製品投入で対抗

売上高

(百万円)



地域別売上比率



業績概要

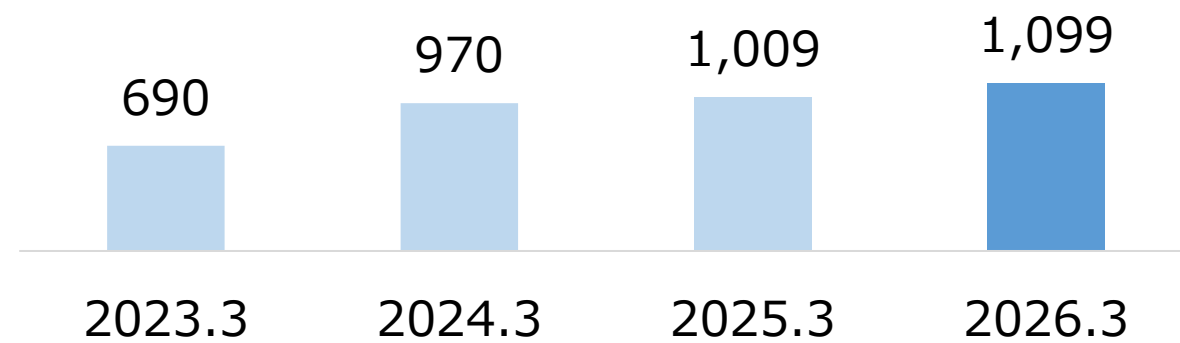
- ・新規製品の計画投入による売上増
- ・製造リードタイムの圧縮により機会損失の抑制

今後の重点施策

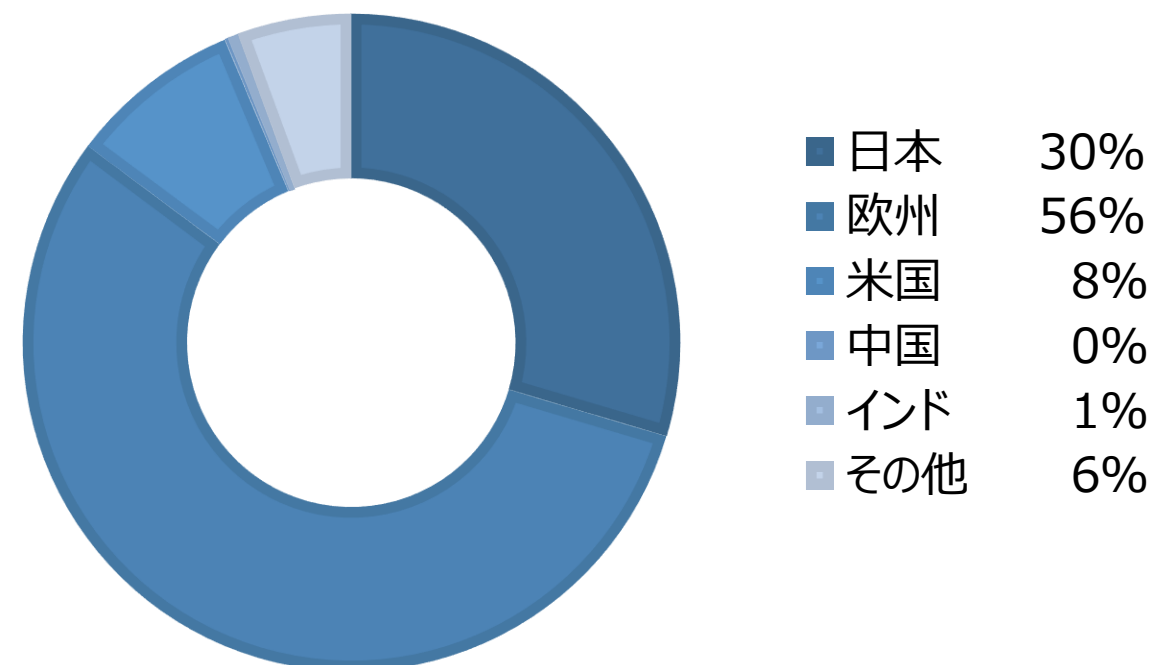
- ・日本および欧州以外での販売力強化
- ・地域性に合わせた製品規格の展開
- ・各国での許認可の取得

売上高

(百万円)



地域別売上比率



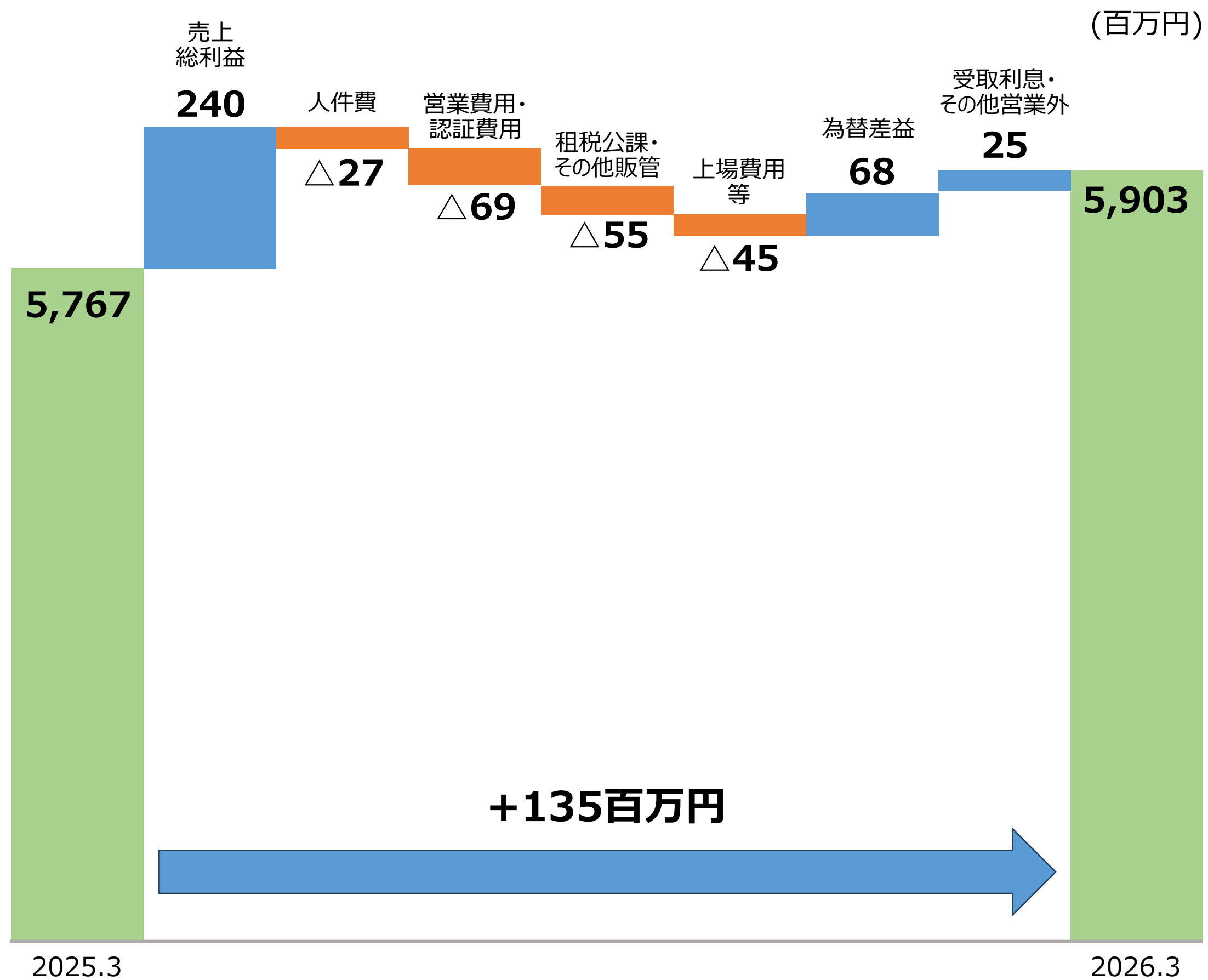
業績概要

- ・堅調な売上実績の推移
- ・新規製品のラインナップ拡充

今後の重点施策

- ・各国での許認可の取得
- ・製造所および生産数の拡大

経常利益の変動要因 <前年同期対比>



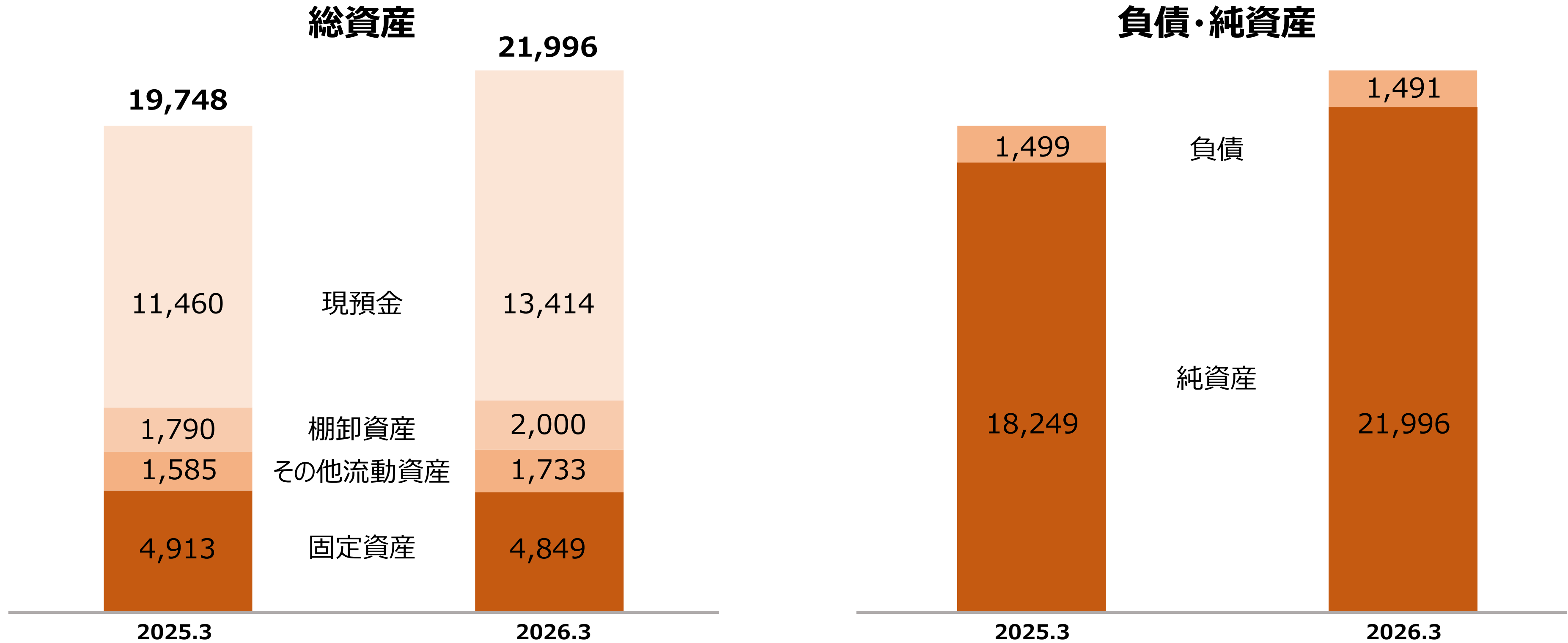
■ 経常利益は5,903百万円で、135百万円の増加。

- 売上総利益** : +240百万円
 - ✓ 製品ミックスの悪化及びOEM製品の増加に伴い一部原価率が上昇したものの、生産改善効果（約50百万円）や売上増により利益増
- 人件費** : △27百万円
 - ✓ 営業・経営体制強化のため、採用活動等を行ったことにより減益
- 営業費用・認証費用** : △69百万円
 - ✓ 学会出展・海外出張・認証取得・保険料等の増加により減益
- 租税公課・その他販管** : △55百万円
 - ✓ 新社屋の不動産取得税の支払等により減益
- 上場費用等** : △45百万円
 - ✓ 上場及び上場維持に必要な費用増加により減益
- 為替差益** : +68百万円
- 受取利息・その他営業外** : +25百万円

バランスシート状況

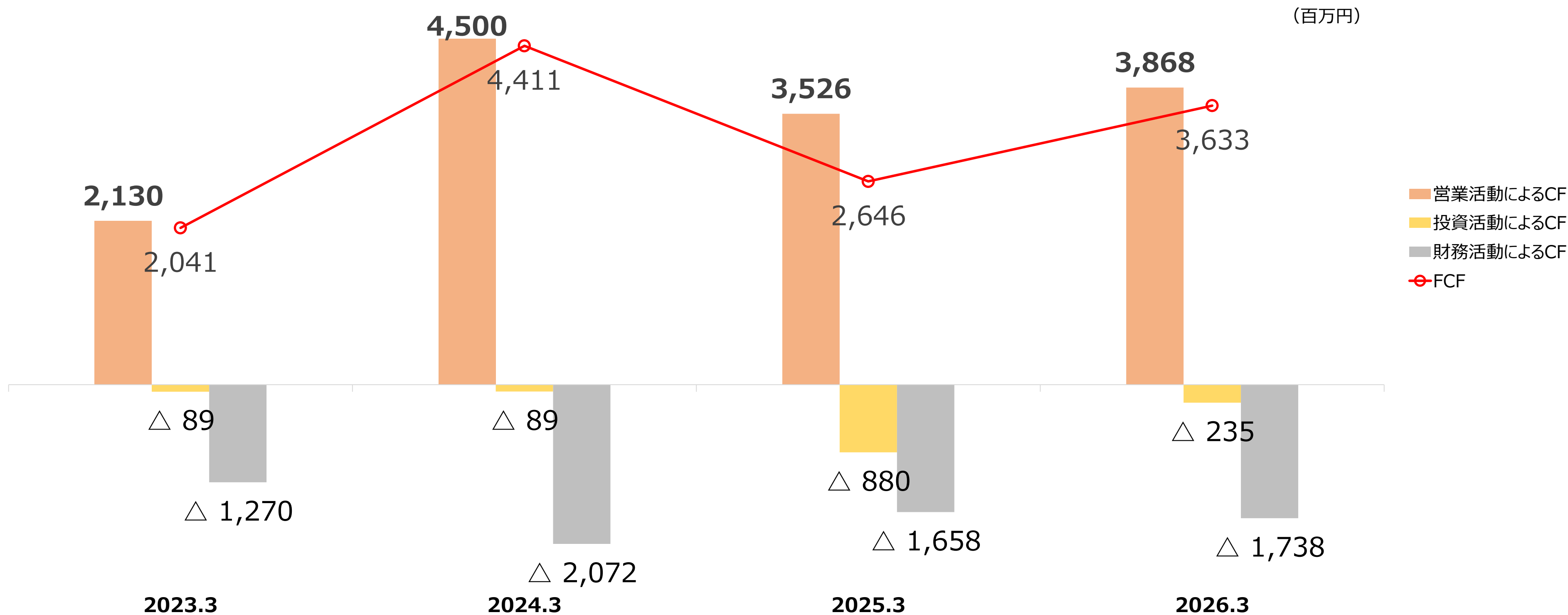
2026年3月期 自己資本比率 93.2% (前期92.4%) 強固な自己資本を維持

(百万円)



キャッシュ・フローの状況

新社屋の投資は概ね完了。自動化設備の導入は2027年3月期以降の予定



2027年3月期
業績予想

KITAZATO[®]

- 凍結保存関連製品を中心に、製品ラインナップの拡充、認証取得の推進及びマーケティング・営業の強化を継続
- 国内は、顧客ニーズを踏まえた新製品投入と営業活動の強化により、売上の維持を図る
- 海外は、当社スタッフの現地での営業力強化と各製品群の許認可取得状況が大きく依存する

(百万円)

	2026.3 実績	2027.3 計画	前期比 増減率
売上高	10,947	11,346	3.6%
営業利益	5,858	6,115	4.4%
営業利益率	53.5%	53.9%	0.4pt
経常利益	5,903	6,137	4.0%
経常利益率	53.9%	54.1%	0.2pt
当期純利益	3,895	4,059	4.2%
当期純利益率	35.6%	35.8%	0.2pt

現在、地政学的リスク（中東情勢等）による取引への影響は発生しておらず、2027年3月期の業績予想には織り込んでおりません。今後、情勢の急変により業績に重大な影響が生じる可能性があるとは判断した場合には、速やかに公表いたします。

日本・欧州・アジアは安定した売上増を維持する。米国および中東は拡販強化。

重点国として位置付けている中国およびインドにおいては、5年後に市場トップを目指すために向けた新たな取り組みを開始する。

(百万円)

	2026.3 実績	2027.3 計画	増減率
売上高	10,947	11,346	+3.6%
日本	3,660	3,691	+0.8%
海外	7,287	7,655	+5.0%
欧州	3,990	4,215	+5.6%
米国	1,120	1,205	+7.5%
中国	672	700	+4.1%
インド	593	593	+0.0%
その他	909	941	+3.4%

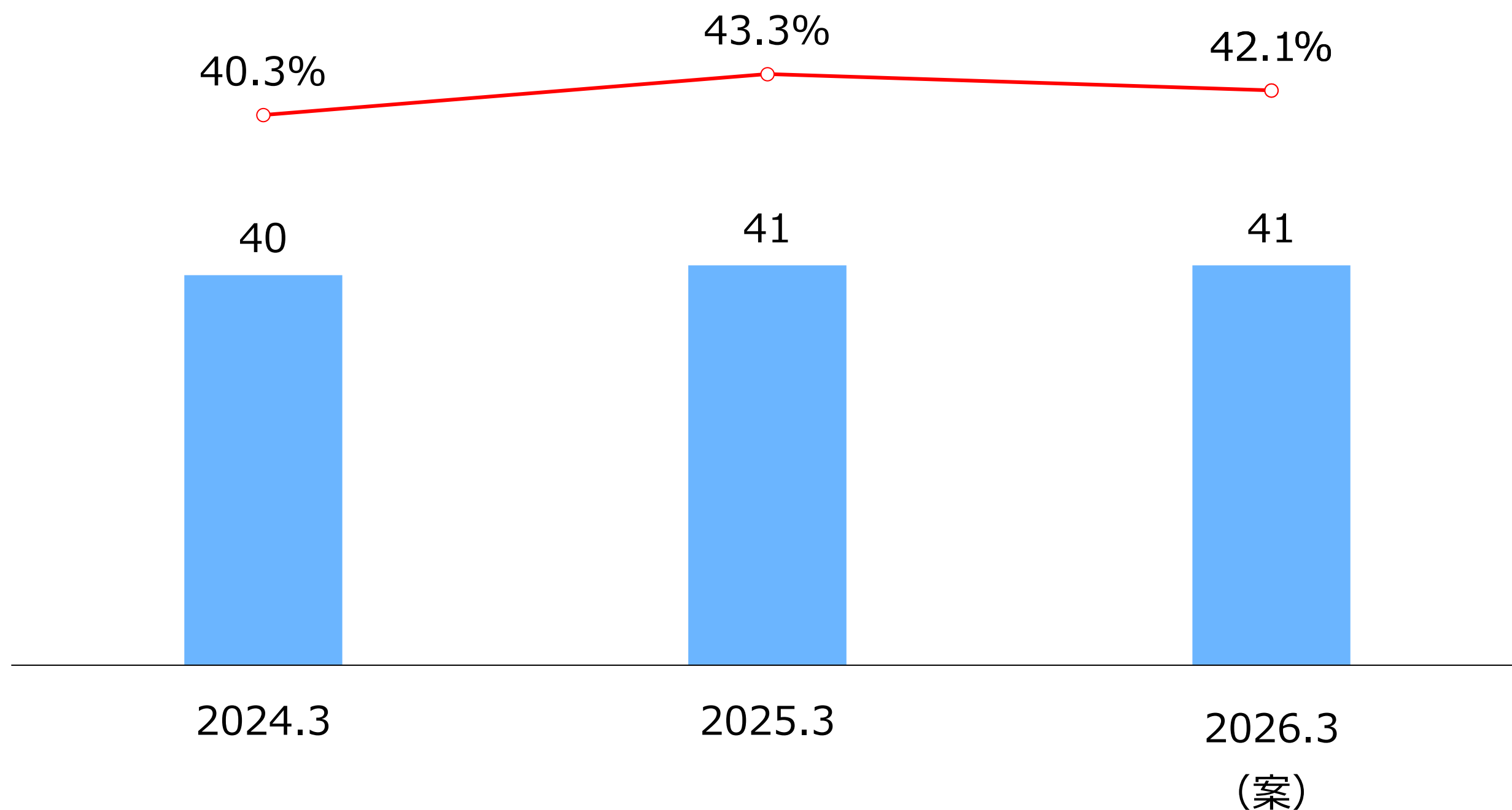
各国・各地域のニーズに合わせた製品展開と許認可取得数拡大を継続していく

(百万円)

	2026.3 実績	2027.3 計画	増減率
売上高	10,947	11,346	+3.6%
Media	4,004	4,157	+3.8%
Cryodevice	3,081	3,191	+3.6%
医療機器	2,512	2,620	+4.3%
Micro Tools	1,099	1,122	+2.2%
その他	249	253	+1.4%

- 年間連結配当性向 40%以上を目安に 安定的な配当を継続
- 2026年3月期の配当は1株当たり41円を予定。2027年3月期も同額の41円を予想も、今後の利益成長や投資状況等を踏まえ適切に判断

■ 一株当たり配当額 ○ 連結配当性向



(2027年3月期)

売上高 11,346百万円

売上高成長率 3.6%

営業利益率 53.9%

海外売上比率 67.5%

ROE 19.8%

今後の 取り組みについて



KITAZATO®

- 企業理念 -

“Happiness, for the Next Generations”

私たちは少子化問題に真摯に取り組めます。
患者様が安心して不妊治療に取り組める医療の向上、
そして生まれてきた子供たちが健全に成長できる社会環境整備に寄与します。

当社の医療現場における取り組み

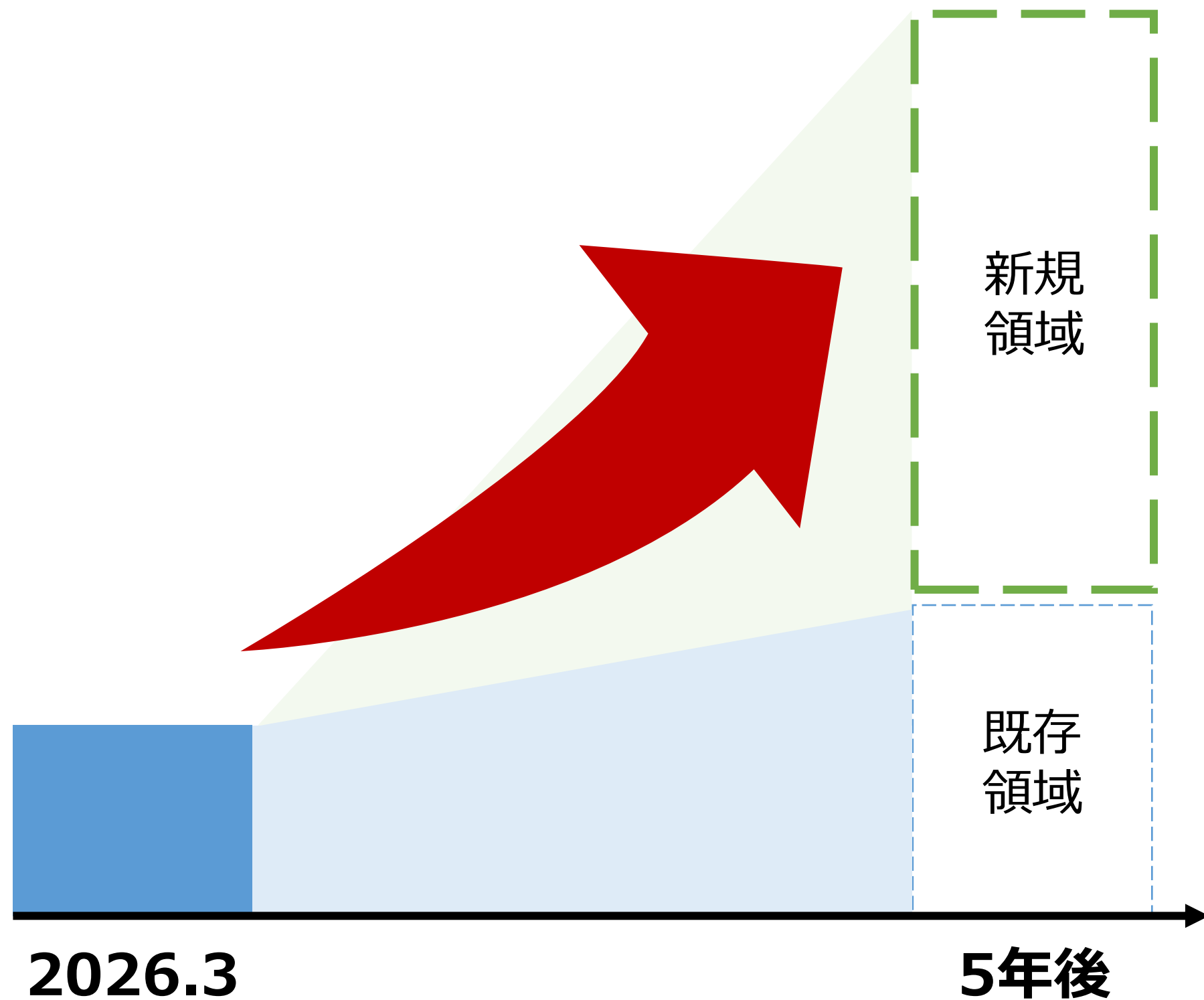
妊娠率向上に向けた 研究開発	試薬・消耗品の 低コスト化による 治療負担軽減	医療従事者への 技術研修・学術支援	患者様への 不妊治療に関する 理解促進	不妊治療から産科・ 小児科までの 医療連携支援
-------------------	-------------------------------	----------------------	---------------------------	-------------------------------

行政の社会における取り組み

経済支援の充実 (児童手当・出産支援等)	保育・教育サービスの 拡充	仕事と子育ての両立支援	住宅・地域環境の整備	結婚支援・意識改革
-------------------------	------------------	-------------	------------	-----------

安心して子どもを持ち、育てられる社会へ
少子化・出生率低下という社会課題の改善に貢献

- ・ 北里は研究開発型企业です。研究開発費に積極的に投資し、妊娠率を向上させる努力をすること
- ・ 不妊治療に有益な事業の拡張し、医療機関および患者様をサポートしていくこと
- ・ 製造コストおよび販売コストを下げる努力を続け、高い利益率を維持し、株主の皆さまに恩返しをすること



事業系投資

卵子・精子バンク・再生医療への展開
医薬品／体外診断薬の新規展開
病院・クリニックのサポート

設備系投資

製造ラインの見直し
研究機関設立
材料・成型技術向上に向けた事業拡張

販売系投資

海外子会社設立
海外JV事業の出資
世界へ医療機関ネットワークの構築

この資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

お問い合わせ先

株式会社 北里コーポレーション

経営企画部

TEL 0545-65-7122

URL <https://www.kitazato.co.jp/ja/ir/inquiry/>

北里アリーナ富士 KITA ZATO
富士市総合体育館

KITAZATO[®]

www.kitazato.co.jp